

令和4年度第3回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録

日時 令和4年10月27日（木）午後1時30分～4時

場所 多摩市立図書館 本館 講座室

出席 えほんの会、おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、多摩おはなしの会、
多摩市文庫連絡協議会、つくしんぼ文庫、布の絵本サークル ピエロ、もりの文庫

欠席 ひなたぼっこ

開会

（事務局）

（資料の確認）

- 1 令和4年度第2回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会
要点録（案）の確認

（会長）

- ・特に意見がないため、確定とする。

2 報告事項

- （1）令和5年度子供の読書活動優秀実践図書館・団体（個人）に対する文部科学大臣表彰
候補等の推薦について

（事務局）

- ・1団体を東京都教育委員会へ推薦した旨を報告。

- （2）第三次子どもの読書活動推進計画アクションプラン（令和4年度版）

【図書館・関係課】【小・中学校分】について

（事務局）

（資料1・2に沿って説明）

（多摩おはなしの会）

- ・【図書館・関係課分】表の①～⑥の中の④が抜けているのではないか。

(事務局)

- ・修正を行う。あわせて「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画 アクションプランについて」の該当箇所にも修正を加える。

(コアラ文庫)

- ・備考欄にはどのようなことが書かれているのか。

(事務局)

- ・評価が C、D の場合は実施できなかった理由が記載されている。A や B で備考欄へ記入がある場合は、具体的な実施内容や方法などが記載されている。

(もりの文庫)

（【図書館・関係課分】の 46 ページ）

- ・今年、永山フェスティバルが開催されたが、秋色おはなし会についてボランティアに声がかからなかった。教育振興課と連携している旧富澤家のお月見のイベントは、今回展示のみであった。永山フェスティバルも旧富澤家のイベントもおはなし会を行うことについては検討がされていたのか。おはなし会が行われなかった経緯を知りたい。

(事務局)

- ・秋色おはなし会については、コロナ禍という現状で、会場が視聴覚室という窓の開かない（換気ができない）部屋だったため、おはなし会を行うことができない環境である。
- ・秋色おはなし会は旧富澤家のおはなし会と非常に時期が近いため、今後は旧富澤家のおはなし会に集約するということを考えている。

(もりの文庫)

- ・秋色おはなし会はアクションプランの継続事項にある通り、今後も継続される事業だと思っていた。
- ・秋色おはなし会は、やまばとホール場所に図書館があった頃から長く継続してきたおはなし会であり、特に「おはなし（語り）」に力を入れてきた。思い入れもある。コロナ禍で今回は開催しないという選択をしたのであれば仕方がないが、事前に経緯などを知らせてほしかった。

（【図書館・関係課分】の 45 ページ）

- ・「お団子づくりと図書館おはなし広場」も継続事項として記載があるが、今後は開催されないのか。

(事務局)

- ・旧富澤家のお月見（お団子づくり）に関しては、教育振興課からコロナ禍のため行うことができない、と4月の時点で連絡があった。先日行った旧富澤家のおはなし会は教育振興課ではなく、別の関係課と関連がある多摩センター地区連絡協議会と連携をとり、ハロウィンをテーマにしたおはなし会を開催した。

(コアラ文庫)

- ・図書館の中で、今回の旧富澤家イベント（ハロウィンをテーマにしたおはなし会）の中心となった係はどこなのか。

(事務局)

- ・本館閉館・中央図書館開館イベントのチームが中心となって企画した。
- ・秋色おはなし会と旧富澤家のおはなし会について今回開催しなかったことと今後をまとめると、
 - ① コロナ禍だったため、また会場である視聴覚室が換気のできない場所だったため、おはなし会は行わなかった。
 - ② 1ヶ月の間に近い場所（2ヶ所）で行っていたおはなし会を整理し、今後は旧富澤家にまとめたかたちにするのが良いのではないかと、ということも検討している。

(コアラ文庫)

- ・今年、永山フェスティバルが再開されているのにも関わらず、秋色おはなし会が開催されなかったこと、旧富澤家イベントで図書館職員がおはなし会を行う事など、諸々の経緯や説明を事前に行うべきだったのではないかと。

(もりの文庫)

- ・秋色おはなし会がコロナ禍や換気のできない部屋のため開催できなかったことは納得できた。
- ・秋色おはなし会と旧富澤家のおはなし会は、時期は同じだが、秋色おはなし会はおはなし（語り）を中心としたおはなし会としての成り立ちがある。ふたつを同じものとして集約するのは納得できない。

(コアラ文庫)

- ・子どもたち向けのイベントを広げていく、増やしていくという考え方があってもいいのではないかと。無理にまとめなくともよいのではないかと。

(多摩おはなしの会)

- ・秋色おはなし会で市民協働を行ってきた団体がある。個々の団体が、持ち味をいかながらイベントをつくってきた経緯があるので、秋色おはなし会を旧富澤家のおはなし会として集約するのであれば、事前に話し合いの場が欲しかった。

(事務局)

- ・秋色おはなし会を終了させるのではなく、旧富澤家にまとめる（移管する）ことによってもっと内容が濃い、良いものが出来上がるのではないかと考えている。おはなし会を集約することは決定事項ではなく選択肢の一つである。

(多摩おはなしの会)

- ・今まで別々に行っていたものを、今後ひとつにしていきたいと図書館側が考えているならば、市民ボランティア連絡会を使って、意見を交換したり希望を聞いたりする場を設けてほしい。市民協働としてボランティアが今後も関わっていくのであれば、結果報告だけではない方法をとってほしい。

(つくしんぼ文庫)

- ・秋色おはなし会と旧富澤家のおはなし会をまとめるのは、それぞれのおはなし会の趣旨が違うので、無理があるのではないかと考える。おはなし会における内容の検討は、大事にしてほしい。

(多摩市文庫連絡協議会)

- ・旧富澤家で行ったハロウィンおはなし会はいつごろから具体化したのか。周知期間も短く、図書館のホームページの記事で初めて知った。

(事務局)

- ・8月下旬から9月にかけてイベントに参加するメンバーが決定し、内容の検討や広報を順次行った。
- ・別のイベントに参加する予定だったがイベントそのものが中止になってしまい、急遽変更した部分もあったため、周知期間が短く広報のタイミングが遅くなってしまった。

(会長)

- ・秋色おはなし会と旧富澤家におけるおはなし会については、次回の連絡会での検討事項とする。

3 意見交換

(1) 第 14 回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》について

(事務局)

(資料 3 に沿って説明)

[意見等]

① スタンプラリーについて

- ・「来館」だけではなく、おはなし会への参加や貸出返却を行うなど、図書館利用に結びつけた企画にしてはどうか。
- ・過去に行ったスタンプラリーが廃止になった経緯なども確認した方が良い。
- ・図書館には楽しい事がある！という思考に結び付けられるイベントになるとよい。
- ・子どもの足で市内の図書館全館をまわることは現実的ではない。

(事務局)

- ・現在、健幸まちづくり推進室とスタンプラリーの内容を検討中である。過去のスタンプラリー企画が廃止された経緯も含めて、おはなし会や図書館利用に誘導できるような企画にしたい。

② 特別おはなし会について

(もりの文庫)

- ・特別おはなし会の照会はどの団体に行うのか。

(事務局)

- ・昨年と同様に、多摩市で活動している団体に照会する予定である。図書館でおはなし会を行っている団体のみ、というわけではない。

(2) 子ども読書まつり《ほんともフェスタ》の今後のあり方について

(事務局)

(資料 4 に沿って説明)

[意見等]

① おはなし会について

- ・日常の（定例）おはなし会が大切である。ほんともフェスタで行う特別おはなし会は、定例のおはなし会を周知させるためのイベント、というのが根底にあった。だが第 14 回ほんともフェスタのチラシにも、特別おはなし会のみ掲載となっている。QR コードなどの工夫があるとのことだが、根本的な観点がずれているのでは

ないかと思う。

- ・もう一度詰めた議論を行いたい。会ごとのつながりや団体同士の協力などを考えて、話し合いを重ねていきたい。

② イベント開催時期について

- ・読書週間や子ども読書推進計画の策定、本館の移動に合わせて 3 月に行うようになり、数年前に時期を変更するという議論もあったが、学校の先生の意見を取り入れ、年度末に行う現状のままとなったと思う。中央図書館の開館や子どもたちの最近の参加率も踏まえて、夏休み頃に時期を変更してもよいのではないかと思う。

③ 講演会について

- ・子ども参加型に限定せず、大人向けや親子参加などいろいろなものがあってよいのではないか。

(会長)

- ・資料 4-1 2 今後の方向性(案)を、今回の会議で出された意見とあわせてまとめる。

(1) 内容

案について了承。

ただし、「～参加型イベントへ変更する。」と限定するのではなく、ボランティアの育成を含めた意味でも、大人向けの講演会や親子で楽しめる講座なども含めて検討するのが良いと思う。

(2) 子ども読書まつり《ほんともフェスタ》の名称について

第三次多摩市子どもの読書活動推進計画の期間中は、名称の変更は行わないでほしい。

(事務局)

- ・それでは、付帯意見として「子どもの読書にかかわる大人向けの講座等の充実もすすめてほしい。」が出されたことを確認する。

(3) 本館閉館イベント及び中央図書館イベントについて

(事務局)

(資料 5 に沿って説明)

[意見等]

(コアラ文庫)

- ・講演会の交渉を行っている講師の情報は公開できないか。

(事務局)

- ・内諾頂いている講師はいるが、まだ公開はできない。

(多摩おはなしの会)

- ・来年は、多摩市立図書館開館 50 周年である。その年に中央図書館が開館する予定だが、周年記念に合わせて何かイベントは検討しているのか。開館のイベントとは別に、2023 年中に行えるような企画があると図書館の記念行事として良いと思う。

(もりの文庫)

- ・市民企画として本館閉館イベントアイデアを募集しているが、中央図書館開館イベントとして何か応募することはできるのか。
- ・中央図書館開館後のおはなし会についても検討をしていきたい。

(事務局)

- ・イベントアイデアの募集を行っているのは本館閉館イベントのみ。
- ・中央図書館開館時のイベントについて、具体的な内容についてはサービス係と調整を行う必要がある。中央図書館開館時イベントやおはなし会については次回の議題とする。

4 情報交換及び次回の日程について

次回の日程

1 月 19 日 (木)

13 時 30 分～16 時 講座室にて

(多摩市文庫連絡協議会)

- ・「文庫連だより」を配布

閉会

(午後 4 時 16 分終了)